

台風への家庭菜園対策は、

正体を知り進路を読み解くこと

夏の家庭菜園で最大の脅威と言っても過言でない台風。7月からは、日本にやってくる台風が多くなります。その仕組みを知り、進路予報の読み方を理解することは、家庭菜園での早めの対策を立てる一助となるでしょう。

熱帯地方で発生する低気圧（熱帯低気圧）のうち、10分間平均の最大風速が秒速17.2メートル以上になったものが「台風」です。気象庁の平年値（30年）によると、年間平均25.6個の台風が発生し、そのうち、日本に上陸したのは、約10%の2.7個に。夏の6月～10月に亜熱帯で発生した台風は、広大な北太平洋高気圧の西縁にある小笠原高気圧の周辺に沿って移動しながら北上し、日本に接近してきます。

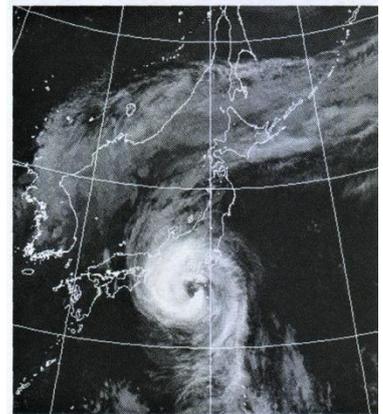
台風の全体像はどんな姿か

図1は、赤道上空約3万6,000キロを回る気象衛星「ひまわり」が捉えた台風です。白く見えるのは雲のてっぺん（表面）で、黒い部分は海や陸です。

本州の南海上にある台風の中心付近に黒く見えるのが、いわゆる「台風目」です。その周囲に渦巻き状の雲の帯が伸びています。その正体は、高さ1万メートルにも達する積乱雲や4,000メートル～5,000メートルもの高積雲。大雨を降らせる原因です。

図2は、台風の構造の簡略図ですが、積乱雲の内部では、激しい上昇気流が起こるため地表の気圧が低下し、地上では、強い、中心に吹き込む風が生じます。ちなみに台風の雲の直径は、1,000kmにまで広がります。

図1



気象衛星「ひまわり」の赤外画像。地面や雲の表面の温度を観測し、その温度情報から雲の画像に変換処理している

進路を左右する3つの風

台風の進路は川に浮かぶ小さな渦のように、取り巻く大気の大規模な流れに支配されます。

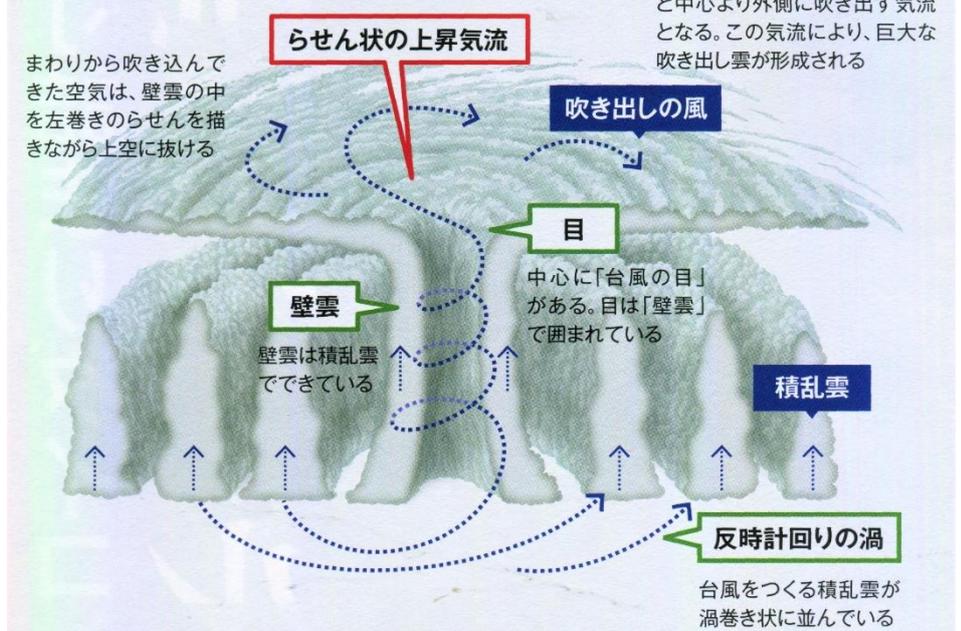
台風を動かす上空の風は、貿易風、太平洋高気圧から吹き出す風、偏西風の3つがあります。亜熱帯で発生した台風は、最初に貿易風と呼ばれる東風の影響を受けて西へ進みます。その後、太平洋高気圧から吹き出す風によって北上し、やがて偏西風に流されて東へと進路を変えます。

図3は、台風の月別の平均的なコースを示したもので、太平洋高気圧の勢力が強いときは日本本土に近づきませんが、勢力が弱まると、接近したり上陸する確率が高くなります。

予報を上手に読み解いて早めに対策を

台風が発生すると、気象庁は中心位置や進行方向速度、気圧、風速などの実況とともに、3日

図2 台風の構造



(72時間)先、もしくは5日(120時間)先までの、詳しい進路予報を発表します。

図4は、3日先までの台風の位置の予報に、暴風域に入る確率を重ねた分布表示の例です。台風の現在位置(×)周辺の円は、現在の暴風域(最大風速が秒速25以上)、外側の円は強風域(最大風速が秒速以上)を示しています。破線の円は台風の進路に当たる「予報円」。

これは12時間後や24時間後の各時刻に台風が到達する範囲を示しており、台風が中心がこの円に入る確率が70%以上あることを意味しています。したがって、この予報円の外側を進む確率は30%ということになります。なお、色で示される領域は、暴風域に入る確率が、黄色は30%、赤は70%、紫は100%であることを表します。

また、台風の進路によっても風の強さは変化します。図5に示すように、台風が自分の西側や北側を通過するとき(B地点)は、風向きは東から南、西へと時計回りに変化します。この場合、台風を運ぶ風との相乗効果で強風になるので注意が必要です。逆に、東側や南側を進んでくる場合(A地点)の風向きは、東から北、西へと反時計回りに変化します。自分が相対的に台風の進路のどの位置にいるかを判断して、早めに風の対策をとりましょう。台風の風は、湾岸地域ではしばしば高潮をもたらすので、低地では嚴重な警戒が必要です。

台風の移動速度にも注意が必要です。速度が遅い場合は大雨となることが多く、シトシトと降る「地雨型」ではなく、激しい強雨が断続的に続きます。いったん雨がやんだように見えても、台風が完全に通過するまで油断は禁物です。

家庭菜園では、溝を畑の外まで切って雨水が流れるようにするほか、力がかかる風下側の支柱を抜いて倒しておきます。トマトの雨除けビニールシートは、飛んではほかの作物を傷つけることもあるので外します。風に弱い、ナスや植えつけたばかりの苗などは、網などで覆います。トウモロコシは複数株を1つに縛ると、風で倒れにくくなります。

台風の通過後は、雨に混ざった海水による塩害が起きたり、高い湿度と、風によってついた細かな傷から病原菌が侵入するので、べと病などの土壌伝染病が発生しやすくなります。泥跳ねは、きれいな水で洗い流しておきましょう。

図3 台風のコース

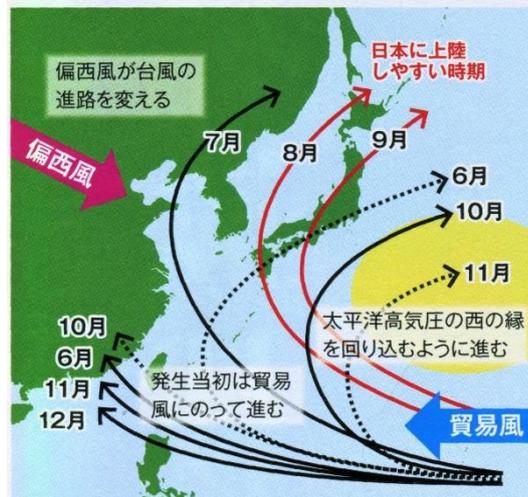


図4 台風の進路予報図(3日先)と暴風域に入る確率

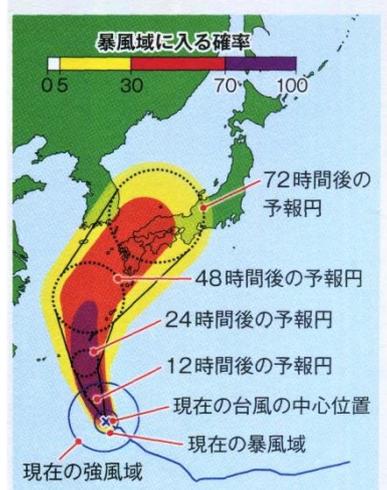


図5 台風の進路と風向き

